

鷺沼駅前再開発・タワマンの見直しと
今の宮前区役所の存続と二つの図書館・市民館の設置を求める陳情

宮前区役所・市民館・図書館の移転に反対し鷺沼駅前開発を考える会
共同代表： 秋好賢一、小久保善一

《陳情項目》

- 1、鷺沼駅前再開発事業に関して、全区民対象に住民説明会を実施してください。
- 2、今の区役所・図書館・市民館を存続させ、鷺沼に図書館・市民館と区役所支所を新設してください。
- 3、景観破壊と交通渋滞をもたらす鷺沼再開発・タワマンの事業を見直し、緑を守り、憩いの広場とゆとりある駅前地区にしてください。
- 4、鷺沼に支所を、野川、菅生に出張所を新設し、向丘出張所の機能を充実してください。
- 5、震災・災害対策は、現区役所を中心とする体制を維持してください。

《陳情理由》

- 2019年2月の福田市長の基本方針決定後も、鷺沼再開発地域への区役所等の移転を知らない区民、開発事業計画そのものを知らない区民が大勢います。住民説明会が必要です。
- 23万区民に図書館が1館、市民のつどう市民館も不足しています。宮前区と同規模の調布市図書館11館、平塚市公民館（市民館）26館などと比べると市民館・図書館の増設が必要なのは明らかです。また、図書館等の運営では、民営化を進めている所では、数年後に経費が増大し、利用者の減少、労働条件の悪化で、職員が定着しない等、専門性の継承・蓄積が困難になり直営に戻す自治体が増えています。
- コロナ禍の時代に、三密になる狭い敷地一杯の建造物、鷺沼再開発地区・タワマンへの100億円を超える補助金の投入は、暮らしと環境を壊す税金の無駄遣いです。
鷺沼駅前再開発計画の見直しを図り、緑豊かなゆとりある都市計画にしてください。
- 大災害の可能性があります。政府の発表では、南海トラフ大地震（マグニチュード8～9級）の起きる確率は今後30年間で70～80%とされています。災害に安心・安全な街づくりは急務です。土砂災害警戒区域の鷺沼駅前地区ではなく、消防署、警察署に隣接した土壌のしっかりした今の区役所が災害対策本部として最適です。

氏 名	住 所